
R8C/36Mグループ、RL78/G13、RL78/G14

R01AN0838JJ0101

R8C/36Mグループと、RL78/G13、RL78/G14の周辺機能比較

Rev.1.01

2012.03.05

要旨

本アプリケーションノートでは、R8C/36Mグループと、RL78/G13、RL78/G14の周辺機能比較について説明します。

対象デバイス

R8Cファミリ：R8C/36Mグループ

RL78ファミリ：RL78/G13(64ピン)、RL78/G14(64ピン)

詳細と電気的特性についてはユーザーズマニュアル ハードウェア編とテクニカルアップデートを参照してください。

1. 周辺機能比較

R8C/36MグループとRL78/G14(64ピン)及びRL78/G13(64ピン)との周辺機能比較を表 1.1 ~ 表 1.11 に示します。

本アプリケーションノートでは、R8CファミリからRL78ファミリへの置き換え時の指針を示すために、R8C/36MグループとRL78/G14及びRL78/G13の周辺機能を比較しています。R8C/36Mグループの周辺機能に対し、RL78/G14又はRL78/G13のどの周辺機能が該当するかを示しており、CPUコアの比較は含まれていません。

R8CファミリとRL78ファミリでは、CPUコア、クロック回路構成が異なりますので、R8Cファミリから継承した周辺機能(タイマRJ(注)、タイマRD、タイマRG、DTC)であっても、RL78ファミリで同一動作を実現できるとは限りませんので、ご注意ください。

RL78/G14又はG13周辺機能の詳細については、「2. 参考ドキュメント」に記載のドキュメントを参照してください。

注．タイマRJは、タイマRA(8ビットプリスケラ付き8ビットタイマ)の16ビットタイマ版です。

表 1.1 周辺機能比較(1)

項目	R8C/36Mグループ (64ピン)	RL78/G14(64ピン)	RL78/G13(64ピン)
リセット	ハードウェアリセット パワーオンリセット 電圧監視0リセット ウォッチドッグタイマリセット ソフトウェアリセット	リセット端子による外部リセット入力 パワーオンリセット(POR)回路の電源電圧と検出電圧との比較による内部リセット 電圧検出回路(LVD)の電源電圧と検出電圧の比較による内部リセット ウォッチドッグ・タイマのプログラム暴走検出による内部リセット	
電圧検出回路	電圧監視0リセット 電圧監視1割り込み 電圧監視2割り込み	電圧検出(LVD)回路の機能(リセット・モード) 電圧検出(LVD)回路の機能(割り込み&リセット・モード) 電圧検出(LVD)回路の機能(割り込みモード) 電圧検出(LVD)回路の機能(割り込みモード)	
ポート	ポートPi方向レジスタ(i=0~6、8) ブルアップ制御 入力閾値制御 駆動能力制御	ポート・モード・レジスタ(i=0~7、12~14) ブルアップ抵抗オプショ ポート入力モードレジスタでTTL入力バッファア選択可 - (大電流駆動ポートあり)	
プロテクト	レジスタ書き換え防止 保護機能	プロテクトレジスタによる保護 (クロック、プロセッサモード、ポート方向、 電圧検出等の関連レジスタの書き換え防止)	
割り込み	ノンマスクアブル割り込み	未定義命令割り込み オーバフロー割り込み BRK割り込み INT命令割り込み ウォッチドッグタイマ割り込み 乗振停止検出割り込み 電圧監視1割り込み/コンパレータA1割り込み 電圧監視2割り込み/コンパレータA2割り込み アドレッシング一致割り込み 電圧監視1割り込み 電圧監視2割り込み 周辺機能割り込み	不正命令の実行による内部リセット - BRK命令の実行割り込み - ウォッチドッグ・タイマのオーバフローによる内部リセット - - - - 電圧検出(LVD)回路の機能(割り込みモード) 電圧検出(LVD)回路の機能(割り込みモード) 周辺機能割り込み
INT割り込み	INT割り込み入力(INT0~INT4) (INT入力フィルタあり。両エッジ、立ち上がりエッジ、立ち下がりエッジ選択可)	外部割込み入力(INTP0~INTP11) (入力フィルタなし。両エッジ、立ち上がりエッジ、立ち下がりエッジ選択可)	
キー入力割り込み	キー割り込み入力(KI0~KI3) (立ち下がりエッジが立ち上がりエッジを設定)	キー割り込み入力(KRM0~KRM7) (立ち下がりエッジのみ)	

表 1.2 周辺機能比較(2)

項目	R8C/36Mグループ (64ピン)	RL78/G14(64ピン)	RL78/G13(64ピン)
<p>オプシオン機能選択領域</p>	<ul style="list-style-type: none"> リセット時のウォッチドッグタイマ起動選択 リセット後カウンタソース保護モード選択 ウォッチドッグタイマアンダフロー同期設定 ウォッチドッグタイマリフレッシュ受付同期設定 電圧検出0レベル起動選択 電圧検出0レベル選択 ROMコードプロテクト機能選択 	<ul style="list-style-type: none"> ウォッチドッグタイマの動作選択 HALT/STOPモード時のウォッチドッグタイマの動作選択 ウォッチドッグタイマのオーバフロー時間の設定 ウォッチドッグタイマのウィンドウオープン期間の設定 ウォッチドッグタイマのインターバル割り込み選択 LVDの動作モード設定 LVD検出レベル(VLVLH)の設定 動作下限電圧(VLVL)の設定 高速内蔵発振回路の周波数設定 フラッシュの動作モード設定 セキュリティID認証失敗時のフラッシュメモリデータの処理 オンチップデバッグ動作制御選択 	
<p>ウォッチドッグタイマ</p>	<ul style="list-style-type: none"> カウンタソース保護モード選択可 無効：カウンタソースはCPUクロック 有効：カウンタソースはウォッチドッグタイマ用低速オンチップオシレータクロック 	<ul style="list-style-type: none"> カウンタソースは常に保護 カウンタソースは低速内蔵発振クロック 	
<p>データ転送機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ウォッチドッグタイマ割り込み アンダフロー リフレッシュ受付可能期間外の書き込み ウォッチドッグタイマリセット アンダフロー リフレッシュ受付可能期間外の書き込み 	<ul style="list-style-type: none"> ウォッチドッグ・タイマのプログラム暴走検出による内部リセット オーバフロー ウィンドウ・クロス期間中の書き込み WDTEレジスタへの1ビット操作命令使用 WDTEレジスタへのACh以外のデータ書き込み 	<ul style="list-style-type: none"> オーバフロー時間の75%到達時のインターバル割り込み
<p>DTC(データトランスタファクタローラ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> DTC(ノーマルモード、リビートモード、チェイン転送) 転送単位(8ビット) ウェイト/ストップモード時動作不可 	<ul style="list-style-type: none"> DTC(ノーマルモード、リビートモード、チェイン転送) 転送単位(8ビット/16ビット) HALT、SNOOZEモード：通常動作、STOPモード：動作停止 	<ul style="list-style-type: none"> DMA(シングル転送)
	<p>コントローラデータの配置は固定</p>	<p>コントローラデータの配置は可変</p>	<p>-</p>

表 1.3 周辺機能比較(3)

項目	R8C/36Mグループ (64ピン)	RL78/G14(64ピン)	RL78/G13(64ピン)
タイマ タイマRA (8ビットプリスケアラ付 8ビットタイマ)	タイマRA(タイマモード) タイマRA(パルス出力モード)	タイマR(タイマモード) タイマRD(タイマモード) タイマRG(タイマモード) タイマR(インターバル・タイマ) タイマR(パルス出力モード) タイマRD(タイマモード(アウトプットコンベンア機能)) タイマRG(タイマモード(アウトプットコンベンア機能)) TAU方形波出力 TAU分周器機能(チャネル0(ユニット0のみ))	タイマR(インターバル・タイマ) タイマR(インターバル・タイマ) TAU方形波出力 TAU分周器機能(チャネル0(ユニット0のみ))
	タイマRA(イベントカウンタモード)	タイマR(イベントカウンタモード) タイマRD(タイマモード) タイマRG(タイマモード) TAU外部イベント・カウンタ	TAU外部イベント・カウンタ
	タイマRA(パルス幅測定モード)	タイマR(パルス幅測定モード) タイマRD(タイマモード(インプットキヤプチャ機能)) タイマRG(タイマモード(インプットキヤプチャ機能)) TAU入力信号のハイ/ロウ・レベル幅測定	TAU入力信号のハイ/ロウ・レベル幅測定
	タイマRA(パルス周期測定モード)	タイマR(パルス周期測定モード) タイマRD(タイマモード(インプットキヤプチャ機能)) タイマRG(タイマモード(インプットキヤプチャ機能)) TAU入力信号のハイ/ロウ・レベル幅測定	TAU入力パルス間隔測定

表 1.4 周辺機能比較(4)

項目	R8C/36Mグループ (64ピン)	RL78/G14(64ピン)	RL78/G13(64ピン)
タイマ	タイマRB(タイマモード)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマR(タイマモード) ・タイマRD(タイマモード) ・タイマRG(タイマモード) ・TAUインターバル・タイマ ・インターバル・タイマ 	<ul style="list-style-type: none"> ・TAUインターバル・タイマ ・インターバル・タイマ
タイマRB (8ビットプリスケアラ付 8ビットタイマ)	タイマRB(プログラマブル波形発生モード)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマR(パルス出力モード) ・タイマRD(タイマモード(アウトプットコンパリア機能)、PWMモード) ・タイマRG(タイマモード(アウトプットコンパリア機能)、PWMモード) ・TAU方形波出力 ・TAU分周器機能(チャネル0(ユニット0のみ)) ・TAU PWM出力((チャネル0-1~3、2-3)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・TAU方形波出力 ・TAU分周器機能(チャネル0(ユニット0のみ)) ・TAU PWM出力(チャネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7)
	タイマRB(プログラマブルワンショット発生モード)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマRD(PWMモード) ・TAUワンショット・パルス出力(チャネル0-1~3、2-3) 	<ul style="list-style-type: none"> TAUワンショット・パルス出力(チャネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7)
	タイマRB (プログラマブルウェイトワンショット発生モード)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマRD(PWMモード) ・TAUワンショット・パルス出力(チャネル0-1~3、2-3) 	<ul style="list-style-type: none"> TAUワンショット・パルス出力(チャネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7)

表 1.5 周辺機能比較(5)

項目	R8C/36Mグループ (64ピン)	RL78/G14(64ピン)	RL78/G13(64ピン)
タイマ	タイマRC(タイマモード)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマR(タイマモード、イベントカウンタモード) ・タイマRD(タイマモード) ・タイマRG(タイマモード) ・タイマインターバル・タイマ ・インターバル・タイマ ・TAU外部イベント・カウンタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・TAUインターバル・タイマ ・インターバル・タイマ ・TAU外部イベント・カウンタ
	タイマRC (タイマモード(インプットキャプチャ機能))	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマR(パルス幅測定モード、パルス周期測定モード) ・タイマRD(タイマモード(インプットキャプチャ機能)) ・タイマRG(タイマモード(インプットキャプチャ機能)) ・TAU入力パルス間隔測定 ・TAU入力信号のハイ/ロウ・レベル幅測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・TAU入力パルス間隔測定 ・TAU入力信号のハイ/ロウ・レベル幅測定
	タイマRC (タイマモード(アウトプットコンペア機能))	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマR(パルス出力モード) ・タイマRD(タイマモード(アウトプットコンペア機能)、PWMモード) ・タイマRG(タイマモード(アウトプットコンペア機能)、PWMモード) ・TAU方形波出力 ・TAU分周器機能(チャンネル0(ユニット0のみ)) ・TAU PWM出力(チャンネル0-1~3、2-3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・TAU方形波出力 ・TAU分周器機能(チャンネル0(ユニット0のみ)) ・TAU PWM出力(チャンネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7)
	タイマRC(PWMモード)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマRD(PWMモード) ・タイマRG(PWMモード) ・TAU PWM出力(チャンネル0-1~3、2-3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・TAU PWM出力(チャンネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7)
	タイマRC(PWM2モード)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマRD(タイマモード(アウトプットコンペア機能)、PWMモード) ・タイマRG(タイマモード(アウトプットコンペア機能)、PWMモード) ・TAU PWM出力(チャンネル0-1~3、2-3) ・TAUワンショット・パルス出力(チャンネル0-1~3、2-3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・TAU PWM出力(チャンネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7) ・TAUワンショット・パルス出力(チャンネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7)

表 1.6 周辺機能比較(6)

項目	R8C/36Mグループ (64ピン)	RL78/G14(64ピン)	RL78/G13(64ピン)
タイマ	タイマRD(タイマモード)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマR(タイマモード、イベントカウンタモード) ・タイマRD(タイマモード) ・タイマRG(タイマモード) ・タイマインターバル・タイマ ・インターバル・タイマ ・TAU外部イベント・カウンタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・TAUインターバル・タイマ ・インターバル・タイマ ・TAU外部イベント・カウンタ
タイマRD (16ビットタイマ)	タイマRD (タイマモード(インプットキャプチャ機能))	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマR(パルス幅測定モード、パルス同期測定モード) ・タイマRD(タイマモード(インプットキャプチャ機能)) ・タイマRG(タイマモード(インプットキャプチャ機能)) ・TAU入力パルス間隔測定 ・TAU入力信号のハイ/ロウ・レベル幅測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・TAU入力パルス間隔測定 ・TAU入力信号のハイ/ロウ・レベル幅測定
タイマRD (タイマモード(アウトプットコンペア機能))	タイマRD (タイマモード(アウトプットコンペア機能))	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマR(パルス出力モード) ・タイマRD(タイマモード(アウトプットコンペア機能)、PWMモード) ・タイマRG(タイマモード(アウトプットコンペア機能)、PWMモード) ・TAU方形波出力 ・TAU分周器機能(チャネル0(ユニット0のみ)) ・TAU PWM出力(チャネル0-1~3、2-3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・TAU方形波出力 ・TAU分周器機能(チャネル0(ユニット0のみ)) ・TAU PWM出力(チャネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7)
タイマRD(PWMモード)	タイマRD(PWMモード)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマRD(PWMモード) ・タイマRG(PWMモード) ・TAU PWM出力(チャネル0-1~3、2-3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・TAU PWM出力(チャネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7)
タイマRD(リセット同期PWMモード)	タイマRD(リセット同期PWMモード)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマRD(リセット同期PWMモード) ・TAU多重PWM出力(チャネル0-1-2、0-2-3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・TAU 多重PWM出力(チャネル0-1-2、0-2-3、0-3-4、0-4-5、0-5-6、0-6-7、2-3-4、2-4-5、2-5-6、2-6-7、4-5-6、4-6-7)
タイマRD(相補PWMモード)	タイマRD(相補PWMモード)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマRD(相補PWMモード) 	-
タイマRD(PWM3モード)	タイマRD(PWM3モード)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマRD(PWM3モード) 	-

表 1.7 周辺機能比較(7)

項目		R8C/36Mグループ (64ピン)	RL78/G14(64ピン)	RL78/G13(64ピン)
タイマ	タイマRE(4ビットカウンタ、8ビットカウンタ)	タイマRE(リアルタイムクロックモード) タイマRE(アウトプットコンペアモード)	リアルタイム・クロック ・タイマRJ(パルス出力モード) ・タイマRD(タイマモード(アウトプットコンペア機能)、PWMモード) ・タイマRG(タイマモード(アウトプットコンペア機能)、PWMモード) ・TAU方形波出力 ・TAU分周器機能(チャネル0(ユニット0のみ)) ・TAU PWM出力(チャネル0-1~3、2-3)	・TAU方形波出力 ・TAU分周器機能(チャネル0(ユニット0のみ)) ・TAU PWM出力(チャネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7)
	タイマRF(16ビットタイマ)	タイマRF(インプットキャプチャモード)	・タイマRJ(パルス幅測定モード、パルス同期測定モード) ・タイマRD(タイマモード(インプットキャプチャ機能)) ・タイマRG(タイマモード(インプットキャプチャ機能)) ・TAU入力パルス隔離測定 ・TAU入力信号のハイ/ロウ・レベル幅測定	・TAU入力パルス隔離測定 ・TAU入力信号のハイ/ロウ・レベル幅測定
		タイマRF(アウトプットコンペアモード)	・タイマRJ(パルス出力モード) ・タイマRD(タイマモード(アウトプットコンペア機能)、PWMモード、PWM3モード) ・タイマRG(タイマモード(アウトプットコンペア機能)、PWMモード) ・TAU方形波出力 ・TAU分周器機能(チャネル0(ユニット0のみ)) ・TAU PWM出力(チャネル0-1~3、2-3) ・TAU多重PWM出力(チャネル0-1-2、0-2-3)	・TAU方形波出力 ・TAU分周器機能(チャネル0(ユニット0のみ)) ・TAU PWM出力(チャネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7) ・TAU多重PWM出力(チャネル0-1-2、0-2-3、0-3-4、0-4-5、0-5-6、0-6-7、2-3-4、2-4-5、2-5-6、2-6-7、4-5-6、4-6-7)

表 1.8 周辺機能比較(8)

項目	R8C/36Mグループ (64ピン)	RL78/G14(64ピン)	RL78/G13(64ピン)
タイマ	タイマRG(タイマモード)	<ul style="list-style-type: none"> タイマR(タイマモード、イベントカウンタモード) タイマRD(タイマモード) タイマRG(タイマモード) タイマインターバル・タイマ インターバル・タイマ TAU外部イベント・カウンタ 	<ul style="list-style-type: none"> TAUインターバル・タイマ インターバル・タイマ TAU外部イベント・カウンタ
タイマ	タイマRG(タイマモード)	<ul style="list-style-type: none"> タイマR(パルス幅測定モード、パルス周期測定モード) タイマRD(タイマモード(インプットキャプチャ機能)) タイマRG(タイマモード(インプットキャプチャ機能)) TAU入力パルス間隔測定 TAU入力信号のハイ/ロウ・レベル幅測定 	<ul style="list-style-type: none"> TAU入力パルス間隔測定 TAU入力信号のハイ/ロウ・レベル幅測定
タイマ	タイマRG(タイマモード)	<ul style="list-style-type: none"> タイマR(パルス出力モード) タイマRD(タイマモード(アウトプットコンペア機能)、PWMモード) タイマRG(タイマモード(アウトプットコンペア機能)、PWMモード) TAU方形波出力 TAU分周器機能(チャネル0(ユニット0のみ)) TAU PWM出力(チャネル0-1~3、2-3) 	<ul style="list-style-type: none"> TAU方形波出力 TAU分周器機能(チャネル0(ユニット0のみ)) TAU PWM出力(チャネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7)
タイマ	タイマRG(PWMモード)	<ul style="list-style-type: none"> タイマRD(PWMモード) タイマRG(PWMモード) TAU PWM出力(チャネル0-1~3、2-3) 	<ul style="list-style-type: none"> TAU PWM出力(チャネル0-1~7、2-3~7、4-5~7、6-7)
タイマ	タイマRG(位相計数モード)	<ul style="list-style-type: none"> タイマRG(位相計数モード) TAU外部イベント・カウンタ 	<ul style="list-style-type: none"> TAU外部イベント・カウンタ
ディレイ・カウンタ	-	TAUディレイ・カウンタ	-
クロック出力/プザ-出力	-	クロック出力/プザ-出力制御回路(PCLBUZ0、1)	-

表 1.9 周辺機能比較(9)

項目	R8C/36Mグループ (64ピン)	RL78/G14(64ピン)	RL78/G13(64ピン)
通信 シリアルインタフェース UART0	クロック同期形シリアルI/Oモード	シリアル・アレイ・ユニット 3線シリアルI/O CSI00(ユニット0チャネル0) CSI01(ユニット0チャネル1) CSI10(ユニット0チャネル2) CSI11(ユニット0チャネル3) CSI20(ユニット1チャネル0) CSI21(ユニット1チャネル1)	
	クック非同期形シリアルI/Oモード(UARTモード)	シリアル・アレイ・ユニット UART UART0[CSI00(ユニット0チャネル0)とCSI01(ユニット0チャネル1)] UART1[CSI10(ユニット0チャネル2)とCSI11(ユニット0チャネル3)] UART2[CSI20(ユニット1チャネル0)とCSI21(ユニット1チャネル1)]	
シリアルインタフェース UART1	クロック同期形シリアルI/Oモード	シリアル・アレイ・ユニット 3線シリアルI/O CSI00(ユニット0チャネル0) CSI01(ユニット0チャネル1) CSI10(ユニット0チャネル2) CSI11(ユニット0チャネル3) CSI20(ユニット1チャネル0) CSI21(ユニット1チャネル1)	
	クック非同期形シリアルI/Oモード(UARTモード)	シリアル・アレイ・ユニット UART UART0[CSI00(ユニット0チャネル0)とCSI01(ユニット0チャネル1)] UART1[CSI10(ユニット0チャネル2)とCSI11(ユニット0チャネル3)] UART2[CSI20(ユニット1チャネル0)とCSI21(ユニット1チャネル1)]	

表 1.10 周辺機能比較(10)

項目	R8C/36Mグループ (64ピン)	RL78/G14(64ピン)	RL78/G13(64ピン)
通信	シリアルインタフェース UART2	クロック同期シリアルI/Oモード	シリアル・アレイ・ユニット 3線シリアルI/O CSI00(ユニット0チャネル0) CSI01(ユニット0チャネル1) CSI10(ユニット0チャネル2) CSI11(ユニット0チャネル3) CSI20(ユニット1チャネル0) CSI21(ユニット1チャネル1)
		クロック非同期シリアルI/Oモード(UARTモード)	シリアル・アレイ・ユニット UART UART0(CSI00(ユニット0チャネル0)とCSI01(ユニット0チャネル1)) UART1(CSI10(ユニット0チャネル2)とCSI11(ユニット0チャネル3)) UART2(CSI20(ユニット1チャネル0)とCSI21(ユニット1チャネル1))
		特殊モード1(I2Cモード) (シングル・マスタでのマスタ/スレーブ機能)	シリアル・アレイ・ユニット 簡易I2C(シングル・マスタでのマスタ機能のみ) IIC00(ユニット0チャネル0) IIC01(ユニット0チャネル1) IIC10(ユニット0チャネル2) IIC11(ユニット0チャネル3) IIC20(ユニット1チャネル0) IIC21(ユニット1チャネル1)
		マルチプロセッサ通信機能	-
	シンクロナリスリアルコ ミュニケーションユニッ ト(SSU)(注1)	クロック同期式通信モード	シリアル・アレイ・ユニット 3線シリアルI/O CSI00(ユニット0チャネル0) CSI01(ユニット0チャネル1) CSI02(ユニット0チャネル2) CSI10(ユニット1チャネル0) CSI11(ユニット1チャネル1)
		4線式バス通信モード(標準モード)	シリアルアレイユニット SPI機能通信 (アービトラレーションの手エックをしない、チップセ レクトはポートで制御する)
		4線式バス通信モード(双方向モード)	-
	I2Cバスインタフェース (注1)	I2Cバスインタフェースモード	シリアルインタフェース IICA
		クロック同期シリアルモード	シリアル・アレイ・ユニット 3線シリアルI/O CSI00(ユニット0チャネル0) CSI01(ユニット0チャネル1) CSI02(ユニット0チャネル2) CSI10(ユニット1チャネル0) CSI11(ユニット1チャネル1)
	ハードウェアLIN	タイムRA、UART0と連携してLIN通信	シリアル・アレイ・ユニット UART UART0(ユニット0チャネル0、1)LIN対応

注1. クロック同期シリアルインタフェース(R8Cは、SSUとI2Cバスインタフェースの同時使用不可)

表 1.11 周辺機能比較(11)

項目	R8C/36Mグループ (64ピン)	RL78/G14(64ピン)	RL78/G13(64ピン)	
フラッシュメモリ	標準シリアル出力モード3	フラッシュ・メモリ・プログラミング・モード単線UART		
	標準シリアル出力モード2	フラッシュ・メモリ・プログラミング・モードUART0		
クロック	パラレル出力モード	-		
	CPU書き換えモード	セルフ書き込みによるフラッシュ・メモリ・プログラミング		
	セキユリティ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック消去禁止 ・書き込み禁止 ・ブート・クラスタ0の書き換え禁止 ・フラッシュ・シールド・ウィンドウ機能(セルフプログラミングのみ) ・オンチップ・デバッグ・セキユリティID 		
	外部発振回路	X1発振回路(1 ~ 20MHz)		
	外部サブ発振回路	XT1発振回路(32.768kHz)		
	内蔵発振回路(高速)	高速オンチップオシレータ(40MHz/2分周 ~ 9分周選択可)	高速内蔵発振回路(32MHz、24MHz、16MHz、12MHz、8MHz、1MHzから選択可)	
	内蔵発振回路(低速)	低速オンチップオシレータ(125kHz)	低速内蔵発振回路(15kHz)	
	パワーコントロール	ウェイトモード ストップモード	HALTモード STOPモード SNOOZEモード	
	周辺機能へのクロック供給停止	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマRC ・タイマRD ・タイマRG ・SSU・I²Cバス ・A/Dコンバータ 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマ・アレイ・ユニット ・リアルタイム・クロック ・タイマRD ・タイマRG ・リアルタイム・クロック ・インターバル・タイマ ・A/Dコンバータ ・D/Aコンバータ ・コンパレータ ・シリアル・アレイ・ユニット ・シリアル・インタフェース IICA ・DTC 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマ・アレイ・ユニット ・リアルタイム・クロック ・インターバル・タイマ ・A/Dコンバータ ・シリアル・アレイ・ユニット ・シリアル・インタフェース IICA

表 1.12 周辺機能比較(11)

項目	R8C/36Mグループ (64ピン)	RL78/G14(64ピン)	RL78/G13(64ピン)	
アナログ変換機能	A/Dコンバータ	単発モード 繰り返しモード0 繰り返しモード1 単掃引モード 繰り返し掃引モード	セレクト・モード(ワンショット変換モード) セレクト・モード(連続変換モード) -	
	D/Aコンバータ	D/Aコンバータ	スキャン・モード(ワンショット変換モード) スキャン・モード(連続変換モード)	
	コンパレータA	・リファレンス入力電圧とアナログ入力電圧の比較 ・比較結果出力	D/Aコンバータ(コード・フラッシュ・メモリが96KB以上の製品のみ) コンパレータ0、コンパレータ1 (コード・フラッシュ・メモリが96KB以上の製品のみ)	-
	コンパレータB	リファレンス入力電圧とアナログ入力電圧の比較	コンパレータ0、コンパレータ1 (コード・フラッシュ・メモリが96KB以上の製品のみ)	-

2. 参考ドキュメント

R8C/36M グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.1.00

RL78/G13 ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.0.03

RL78/G14 ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.0.02

(最新版をルネサス エレクトロニクスホームページから入手してください。)

テクニカルアップデート / テクニカルニュース

(最新の情報をルネサス エレクトロニクスホームページから入手してください。)

ホームページとサポート窓口

ルネサス エレクトロニクスホームページ

<http://japan.renesas.com>

お問合せ先

<http://japan.renesas.com/contact/>

改訂記録	R8C/36Mグループ、RL78/G13、RL78/G14 R8C/36Mグループと、RL78/G13、RL78/G14の周辺機能比較
------	--

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2011.10.04	-	初版発行
1.01	2012.0305	-	表 1.3 ~ 1.8 記載整備
		13	表 1.11 クロック項目追加

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

製品ご使用上の注意事項

ここでは、マイコン製品全体に適用する「使用上の注意事項」について説明します。個別の使用上の注意事項については、本文を参照してください。なお、本マニュアルの本文と異なる記載がある場合は、本文の記載が優先するものとします。

1. 未使用端子の処理

【注意】未使用端子は、本文の「未使用端子の処理」に従って処理してください。

CMOS 製品の入力端子のインピーダンスは、一般に、ハイインピーダンスとなっています。未使用端子を開放状態で動作させると、誘導現象により、LSI 周辺のノイズが印加され、LSI 内部で貫通電流が流れたり、入力信号と認識されて誤動作を起こす恐れがあります。未使用端子は、本文「未使用端子の処理」で説明する指示に従い処理してください。

2. 電源投入時の処置

【注意】電源投入時は、製品の状態は不定です。

電源投入時には、LSI の内部回路の状態は不確定であり、レジスタの設定や各端子の状態は不定です。

外部リセット端子でリセットする製品の場合、電源投入からリセットが有効になるまでの期間、端子の状態は保証できません。

同様に、内蔵パワーオンリセット機能を使用してリセットする製品の場合、電源投入からリセットのかかる一定電圧に達するまでの期間、端子の状態は保証できません。

3. リザーブアドレス（予約領域）のアクセス禁止

【注意】リザーブアドレス（予約領域）のアクセスを禁止します。

アドレス領域には、将来の機能拡張用に割り付けられているリザーブアドレス（予約領域）があります。これらのアドレスをアクセスしたときの動作については、保証できませんので、アクセスしないようにしてください。

4. クロックについて

【注意】リセット時は、クロックが安定した後、リセットを解除してください。

プログラム実行中のクロック切り替え時は、切り替え先クロックが安定した後に切り替えてください。

リセット時、外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックで動作を開始するシステムでは、クロックが十分安定した後、リセットを解除してください。また、プログラムの途中で外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックに切り替える場合は、切り替え先のクロックが十分安定してから切り替えてください。

5. 製品間の相違について

【注意】型名の異なる製品に変更する場合は、製品型名ごとにシステム評価試験を実施してください。

同じグループのマイコンでも型名が違っていると、内部 ROM、レイアウトパターンの相違などにより、電気的特性の範囲で、特性値、動作マージン、ノイズ耐量、ノイズ輻射量などが異なる場合があります。型名が異なる製品に変更する場合は、個々の製品ごとにシステム評価試験を実施してください。

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制するRoHS指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社その総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注1において定義された当社の開発、製造製品をいいます。



ルネサス エレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

※営業お問合せ窓口の住所・電話番号は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス販売株式会社 〒100-0004 千代田区大手町2-6-2（日本ビル）

(03)5201-5307

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。

総合お問合せ窓口：<http://japan.renesas.com/contact/>